

電力線 (AC 100V~230V) 遠隔スイッチモジュール (NC-PLCS3 Ver7.0)

関連製品 : NC-EPLC (電力線通信開発者ユニット)



電力線 (AC 100V~230V) 遠隔スイッチモジュール

- * この電力線3チャンネル遠隔スイッチモジュールは家庭に設置されている電気線 (AC 100V-230V) のコンセントを利用して遠隔地のスイッチ接点をOn/Offできる送/受信モジュールです.
- * 一般的な通信方式で有線及び無線方式の通信方式があります.
有線ケーブル通信方式の場合ケーブル(配線)工事をしなければならない場合, 状況によってはケーブル工事が不可能な場合もあります,
ケーブル(配線)が必要ではない無線通信方式も電波の影響 または設置場所によって通信が不可能な場合があります.
このような有線及びコードレス通信が不可能な通信のために全力船通信(電気線通信 : Power Line Communication) があります.
- * 最近”ホームオートメーション(Home Automation)” 器機の一部部品で多く使われているし, 既存の建築物または構造物の変更なしに設置が可能で, 別途のケーブル(配線)工事期間を要しないから必要費用が節減されて, 住宅, 事務室, 工場などに業務中断なしに設置使用可能な通信方式です.

-特徴-

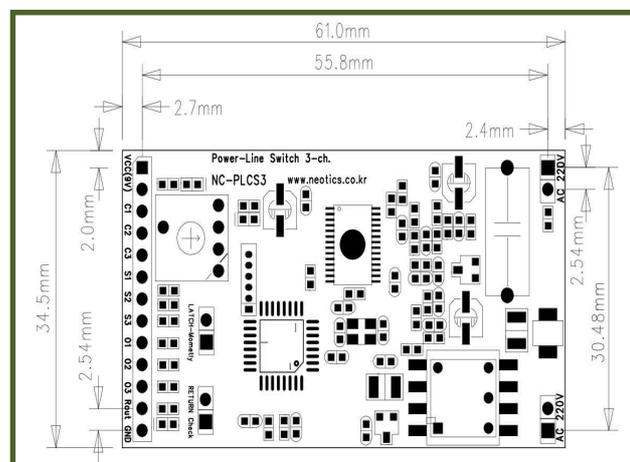
- ・ケーブル(配線)工事に必要となる配線費用及び工期が必要ではないです。電気(コンセント)のある場所はどこでも設置可能します。
- ・いくつかの送信周波数を変換して使うことができるので周り環境または雑音(ノイズ)等の影響を受けにくいです。
- ・個別にIDを設定することができますので、同時にいくつかのスイッチモジュールを使用することができます。
- ・ジャンパ設定によりLatch/ Momentlyの動作が可能です。
- ・送信側でスイッチ操作の後、受信側が確かに動作したのかを確認することができるリターン確認(Return Check) 機能あります。

-用途-

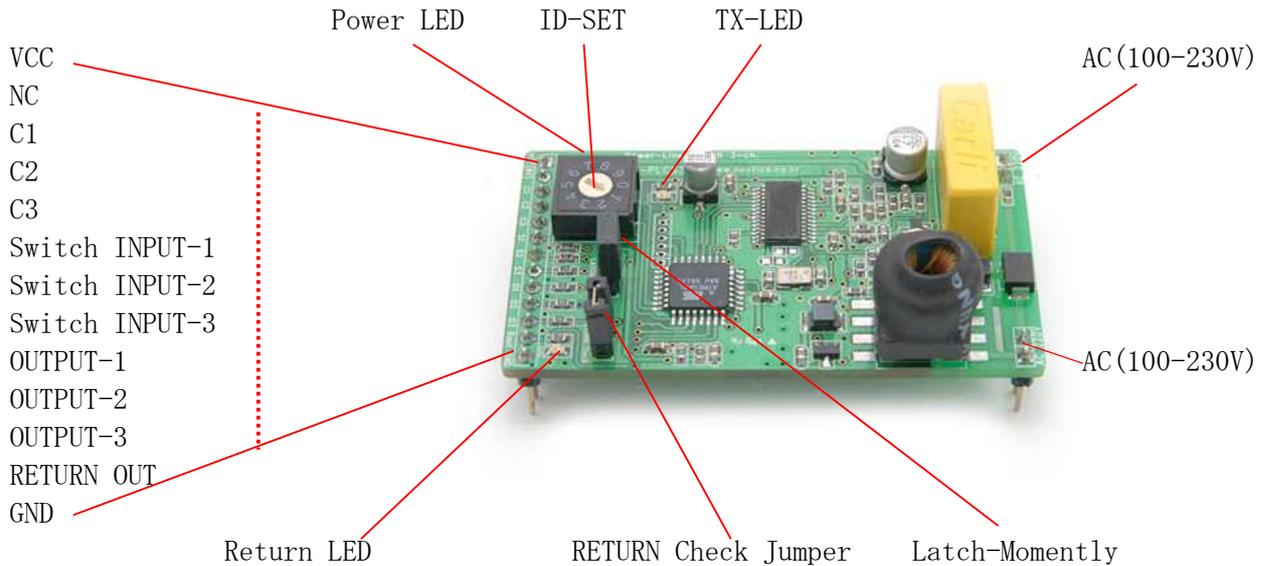
- ・ホームオートメーションのデータ送り装置(コントローラー, 放送装備, その他スイッチ, 制御装置のリモートコントロール).
- ・保安装備の通信線路で活用可能.
- ・有線通信のケーブル(配線)の設置が難しいとか, 工事が不可能な場合使用可能です.
- ・ケーブル(配線)の工事が多くて費用負担によって設置が難しい場合使用可能です.
- ・家庭及び事務室, 工場など設置工事時業務中断の難しさがありません。

電力線 (AC 100V~230V) 遠隔スイッチモジュールの仕様及び大きさ

| 仕様 | 内訳 |
|---------|-----------|
| 使用電圧 | DC 9V |
| 消費電流 | 約 70mA 以下 |
| 通信可能周波数 | 8 個チャンネル |
| 外部器機接続 | TTL Level |
| 制御スイッチ | 3個 |



電力線 (AC 100V~230V) 遠隔スイッチモジュールPinの仕様



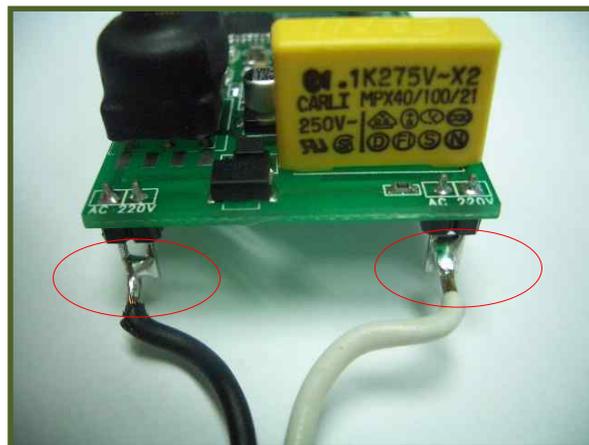
- * Power-LED : 電源 ON 状態を表示する.
- * ID-SET : 通信相手の設定用スイッチ (0~9).
(1~9 : 設定の番号 IDだけ通信可能, 0 : IDに構わずに全ての 通信可能)
- * TX-LED : 送信確認用 LED.
- * VCC : 電源入力 DC 9V(+)を入力します
- * NC : 連結しない
- * C1~C3 : 送信周波数を選択します (C1-C3をGNDと連結して選択)
例) C1, C2, C3 (0 はGNDと連結なし, 1 はGNDと連結)

| | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 0, 0, 0 : 60KHz | 0, 0, 1 : 66KHz |
| 0, 1, 0 : 72KHz | 0, 1, 1 : 76KHz |
| 1, 0, 0 : 82KHz (82.05KHz) | 1, 0, 1 : 86KHz |
| 1, 1, 0 : 110KHz | 1, 1, 1 : 132KHz (132.5KHz) |
- * RETURN Check Jumper : 送信側でスイッチ制御後受信部が正確に動作したのかを分かるように受信側の回答を待つモード設定ジャンパ.
 - Jumper Close (挟んだ状態) : Return Checkをする.
 - Jumper Open (挟まなかった状態) : Return Checkをしない.
- * Latch-Momently Jumper : 受信側で制御出力をする時Latchに出力するかMomentlyに出力するかを選択するジャンパ.
 - Close (Momently-挟んだ状態) : 送信側でスイッチを押す間 “H” を出力
 - Open (Latch-挟まなかった状態) : 送信側でスイッチを押す度に “H” と “L” を交互に繰り返し出力
- * RETURN OUT : 送信側でスイッチ制御後受信部が正確に動作したのかを確認するため “H” や “L” を出力してくれる端子.
- * Return LED : Return 確認用 LED.

- * Switch INPUT-1, 2, 3: 制御したい装置のスイッチを選択します。
(GNDと連結して選択します.)
 - 例) Switch INPUT-1を GNDと連結の時
受信側 TTL OUTPUT-1 出力が “” H” になります.
 - 例) Switch INPUT-1と INPUT-3を GNDと連結の時
受信側 TTL OUTPUT-1 と OUTPUT-3の出力が” H” になります.
- * OUTPUT-1, 2, 3 : 送信機で選択されたスイッチにあたる受信側の出力ピンが
“H” になります.
 - 例) 送信側 Switch INPUT-2を GNDと連結して受信側の出力ピン中
TTL OUTPUT-2に “H” が出力されます.
 - 参照) Latch-Momently 設定によって “H” 出力の方法が変わります.
- * GND : 電源入力 DC-9V (-)を入力します
- * AC (110-220V) : AC(交流, 電力線) 110-220V 連結端子.

- 注) 1. 入力電源がDC 9Vでない場合は周波数が変動しますので、必ず9Vで使用して下さい。
2. スイッチング方式の電源装置を使う場合ノイズ(雑音)が発生または通信不可の場合もあります。(出来るだけトランス方式の電源を使用して下さい。)

**** 使用の時には高圧に気を付けてください****
(それぞれに2個のピンがあり, 2個のピンが同じ端子です)



******* 注意事項 *******

1. 本製品はテスト済み製品です。
2. 本製品と他の機器を接続するときは、各製品の特性を必ず確認してから使用してください。
3. 本製品を利用して、拡張された製品の製作/販売の場合、使用されるそれぞれの国の製品の承認(認証)が必要になる場合があります。
4. 本製品を使用することで発生可能なすべての責任はユーザーにあることを示します。

* 使用方法または参照資料はホームページのマニュアルまたは資料室からダウンロード可能です。
www.logiccamp.co.kr/index_jan.php